

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日本エクスラン工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号	
本票作成	部署名：日本エクスラン工業㈱ 西大寺工場工務部				
主たる業種	分類コード	1	1	業種名：化学繊維製造業	
事業の概要	アクリル繊維生産量：38,000トン/年 従業員数：250名 保有車両数：自家用車 2 台				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	西大寺工場		岡山市東区金岡東町三丁目 3 番 1 号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500k0以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 か 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 2 2 年度		～	平成 2 6 年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 2 1 年度)			目標年度 (平成 2 6 年度)					
	124,000 t CO ₂			117,000 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 2 1 年度) の排出量					
	①	西大寺工場		124,000 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産数量 (当工場の主たる製品を生産するために要するエネルギーの原油換算量を基準として、製品ごとに換算したものの合計数値)		基準年度	目標年度
			2,960 t CO ₂ / (千 t)	2,800 t CO ₂ / (千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

西大寺工場の省エネ推進目標を国の努力目標と同じ「エネルギー原単位年率 1 %削減」とし、また所属団体「日本化学繊維協会」の自主行動計画「2010年度までにエネルギー原単位を1990年比10%削減することを目指す。」を弊社の自主行動計画としても掲げ、省エネに取り組んでいる。(これら削減目標は、弊社ホームページに掲載)

【目標削減率達成のための推進体制】

- ①省エネ対策委員会：工場長を委員長、各部長を委員とする工場全体会議（年2回開催）
 ②製造部の省エネプロジェクト会議：部長・課長・グループリーダーの他、工務部の担当課長も出席（隔月開催）
 ③コスト改善委員会：原価低減策の一部として省エネ取組状況や効果の把握を行っている（毎月）

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
西大寺工場	(1)2005/11～2007/1 ㈱ジェムコ日本経営による省エネコンサルタントを導入、プロジェクトチームにより全工場に渡って省エネテーマの発掘、対策実施を行った。(効果：約1,000万円/年) (2)従来の提案活動に加え、1999年からTPM改善活動を開始し、現在も継続実施中。TPM活動の中では工場長自ら省エネ活動を奨励し、効果を認めたものは表彰・報奨金授与を行っている。 (3)2008年からは親会社の「燃料費削減プロジェクト」に参加し、省エネテーマの抽出・案件化を行っている他、関係会社のエネルギー担当者会議(2回/年)にも参加し、省エネ(CO2削減)に取り組んでいる。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
西大寺工場	(1)各種ポンプ・ファン能力適正化 ①生産量減少などで能力が過大になった設備の能力適正化。 ②乾燥機用ファンを高効率ファンに取替など。 (2)アクリル綿製造工程の水洗機の効率化 ・振動水洗方式導入(2ヶ系列) (3)高効率冷凍機導入 ・2007年に省電力タイプの高効率冷凍機(能力700JRT)1台を導入した。2台目(500JRT)を導入する。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	2003年に産業廃棄物焼却設備を設置し、付属の廃熱ボイラーで発生した蒸気を工場へ送気することで廃棄物熱の有効利用を図っている。
その他	無	

【その他特記事項】

<ul style="list-style-type: none"> ・空調用電力・蒸気節減のため、クールビズ・ウォームビズ運動を推進している。 ・西大寺工場全部門で環境マネジメントシステム(ISO14001)認証取得(2001年度) 		
---	--	--